

プレスリリース

反捕鯨団体シーシェパードによる妨害活動（第10報）

平成24年3月6日
財団法人日本鯨類研究所

3月5日19時30分頃（日本時間）、1日の調査活動を終えて移動中の第二期南極海鯨類捕獲調査（JARPAII）船団は、反捕鯨団体シーシェパード（SS）所属の妨害船ボブ・バーカー号（BB号）に遭遇した。

速度の遅い調査母船日新丸（NM）は、安全のためただちに回避行動に入り、この間にJARPAII船団所属の第二勇新丸（YS2）および第三勇新丸（YS3）が、BB号によるNMへの妨害活動を思いとどまらせるために、音声による警告と共に船尾から接近警告用のブイを曳航してBB号の行動を牽制した。

BB号は20時05分頃からYS2およびYS3に対し、信号弾を40発以上発射したほか、強力なレーザーを約50分間にわたり照射したが、YS2およびYS3の乗組員および船体に被害はなかった。

23時45分頃、NMはBB号から安全な距離まで回避し、YS2およびYS3はBB号の監視を続けている。

日本が実施しているJARPAIIは、国際捕鯨取締条約に基づく合法的な調査活動である。SSの暴力的な妨害行為は、調査捕鯨に従事する我が国の船舶および乗組員の生命・財産を脅かすものであり、決して許されない。当研究所は、暴力に屈することなくJARPAIIを遂行する予定である。

以上